

## 職員の提案・やりたいことは必ず採用。職員自らが施設運営に参画したいと思う機運づくり

利用者のみならず、職員の得意や個性を活かせる職場環境になることを目指した。利用者と職員が一緒になって明るい雰囲気施設のつくる取り組みとは。

### 【取り組みのポイント】

- 認知症のある利用者への職員の対応を見直す取り組みとしてスタート。利用者の能力を生かすだけでなく、利用者と職員それぞれが好きなことを一緒にしたり、学び合う関係を重視した。その結果、職員自らが利用者へのケアや施設運営に対し積極的に考えるようになり、仕事へのモチベーションが高まった
- 家事を手伝ってくれる利用者も増え、職員の業務量が低減。職員に余裕が生まれ、利用者と一緒に活動に繋がっている
- 雑談を大切にし、職員同士や利用者とのやり取りの中から、業務の改善点や新たな提案が生まれた。職員からの提案・やりたいことで実現できるものは必ず採用し、みんなで取り組むことで施設全体の雰囲気も明るくなった

### 利用者への対応の見直しがきっかけ

自宅での生活をグループホームでも再現できるようにしたいという施設のコンセプトがあったが、業務の忙しさから利用者の行動を必要以上に制限してしまい、そのことが利用者の不穏につながっていた。結果、職員の業務負担が増えるという悪循環が生まれていた。そこで、利用者への対応を見直すため、職員が利用者の立場になるロールプレイ形式の研修を実施。研修では自身のしたいことを職員から制限されるという体験を通じ、利用者の意思を尊重する大切さを学んで貰った。

### 利用者への関わり方に変化が生まれた

ロールプレイの研修を通じて、職員は「利用者が自宅でどんなことを日課や楽しみにしていたのか」ということに興味・関心を持つようになった。郷土料理の作り方やいわゆるおばあちゃんの知恵袋など、接しているうちにその人が今まで培ってきた知

識や経験が業務を通じて学ぶことができ、結果、利用者を個人として尊重するようになった。

### 自宅にいたときよりも働き者になる利用者

利用者ができることであれば手伝ってもらい、野菜の皮むき、食事の下膳、食器拭き、洗濯などの作業ができる利用者の力量を把握し、生かすことを心がけた。今では職員が洗い物を始めると自分から食器拭きを手伝いに来てくれるなど、戦力になっている。面会に来た家族が自宅にいたときには考えられなかった家事をしているのを見て驚かされている。

利用者は感謝される喜びが得られ、職員も作業が



軽減されてゆとりができるのでお互いに良い影響が生まれている。

## 利用者にも職員の「趣味や好きなこと」に興味・関心が生まれてきた

利用者と同じで職員にも個性があり、採用面接では趣味や特技を教えてください、仕事に活かして貰っている。例えば、お菓子作りが好きな職員は利用者と一緒にお菓子を作ったり、菜園が趣味の職員と利用者で敷地内の畑づくりをしたり、吹奏楽部だった職員には演奏をしてもらおうなど。いずれも利用者がすごく喜んでくれている。

今まで当番制で義務的に行っていた行事や仕事を得意な職員が担うことで仕事をしながら自分の好きなことができ、自分の得意なことが職場で求められているなどの自己肯定感の向上にもつながり、職員から次の企画の提案が生まれるなど職場に楽しみを持ちながら働けるようになっていく。

## 雑談から生まれるアイデア。職員からの提案を活かす・やってみる

業務時間中の雑談を禁止している事業所もあるかもしれないが、かがやきではむしろ雑談を推奨している。ただし、雑談をするときは職員だけで盛り上

がるのではなく、どんな形でも良いので利用者も巻き込むように指導している。崩れた口調で話しても良いことにしていて、TPOさえわかれば利用者と良好な関係性を築く一助になると考えている。業務時間中の雑談以外にも業務の引継ぎ後などの隙間時間があれば、机を囲んでみんなでお茶しながら雑談している。

雑談をしているとアイデアもたくさん出てくる。そのアイデアを否定ばかりしていると、職員は何も言わなくなり施設の空気も悪くなると思っている。そのため、職員から出たアイデアは必ず採用するようにしている。試して成功すればみんな喜び、失敗すれば改善策を模索していく。

そして何かあれば上司である管理者が責任を持つ。そうすることで職員を大事にしながら、団結して仕事ができると考えている。今は職員からの提案で始めた行事や取り組みもあり、以前に比べて明るい施設となっている。



## Message

### 上司の理解がある職場だとやる気をもって働くことができる

やる気や能力がある職員も、自分の意見を聞いてもらえない職場では腐ってしまう。職員のやりたい気持ちを尊重して、チャレンジしてみる。何かあれば上役が責任を取るという体制づくりが大事だと思います。

### 職員と利用者にも上も下もない

無意識のうちに介護をする側と受ける側で上下関係が出来ている施設も多いと思います。それを見直せば利用者と職員が一緒になって楽しめる空間づくりができるのではないのでしょうか。

#### <問い合わせ先>

香美町社会福祉協議会 グループホームかがやき  
美方郡香美町香住区無南垣 96 TEL:0796-38-1500



グループホームかがやき写真集（松岡さん提供）



